



世界トップレベルの 医療を地域へ

京都府立医科大学附属病院の起源は、明治5年に京都府民の寄付により京都東山の青蓮院内に開かれた療病院に遡ります。以来、世界トップレベルの医療を地域へ還元することを目的に教育・研究・診療に従事してきました。

その理念は変わることなく受け継がれ、現在では特定機能病院として、各診療科を中心に高度で専門的、かつ安全な医療を提供しています。

●病院概要

所在地	京都府京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
開設者	京都府公立大学法人
開設年	明治5年
病院長名	夜久 均 (心臓血管外科学教授)
病床数	1065床
医師数	常勤 254人、非常勤 342人
診療科	総合診療科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病・代謝内科、血液内科、膠原病・リウマチ・アレルギ科、脳神経内科、感染症科、消化器外科、心臓血管外科、小児心臓血管外科、呼吸器外科、内分泌・乳腺外科、移植・一般外科、小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科・心療内科、放射線科、麻酔科、疼痛・緩和ケア科、リハビリテーション科、救急医療科、病理診断科、歯科

●研修プログラムの方針及び特徴 (スタンダードプログラムAコース) ※その他のコースはHP参照

方針	大学院から研修をスタートするプログラムです。豊富な指導体制の下、まずはじっくりと学びます。1年次の特徴として内科、救急のほかに麻酔科2ヶ月間も必修科目となっていることがあげられます。2年次は協力病院または大学病院で研修します。
特徴	大学病院と地域第一線の市中病院を組み合わせた研修で、医師としての総合力・基盤を培います。救急研修は、大学病院でのER型の救急外来での研修を基本とし、協力病院の救命救急センターなどで3次救急の研修も可能です。将来のキャリアプランに応じた研修が可能です。

●初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急 ※うち1ヶ月は、救急協力病院で研修可能	麻酔科		必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から1ヶ月ずつ選択		
2年次	必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から1ヶ月ずつ選択		救急	地域医療	選択科目 ※2年次たすきがけ協力病院で研修する場合は、たすきがけ協力病院のスケジュールにより異なります。							

プログラム責任者 山脇 正永 (総合医療・医学教育学教授)

●募集要項 (2019年度採用)

採用予定数	62名 ※各プログラムは調整中		
出願期間	令和元年7月3日(水)～7月17日(水)	試験日	令和元年8月18日(日) (ただし、18日に受験が困難な場合は、令和元年8月7日(水)の予備日に受験することができる)

●待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員		
給与	1年次 235,000円/月	2年次 235,000円/月	
手当	副直手当 15,700円/回	その他、時間外手当、救急勤務医手当/有	
勤務時間	8:30～17:15		
休暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):10日 夏期休暇:5日(7月～9月の間で取得可能)		
社会保険	全国健康保険協会(協会けんぽ)、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	なし	副直 4～5回程度/月
宿舍	なし		
その他設備	研修医室(研修医ひとりひとりに専用デスク設置) iPadmini貸与 本学附属図書館 Medline等文献データベースあり 学内保育所、病児保育室あり		

●問い合わせ先

担当部署	卒後臨床研修センター(事務部病院管理課内)	担当者名	新谷
電話番号	075-251-5233(代)	Eメール	sotsugo@koto.kpu-m.ac.jp